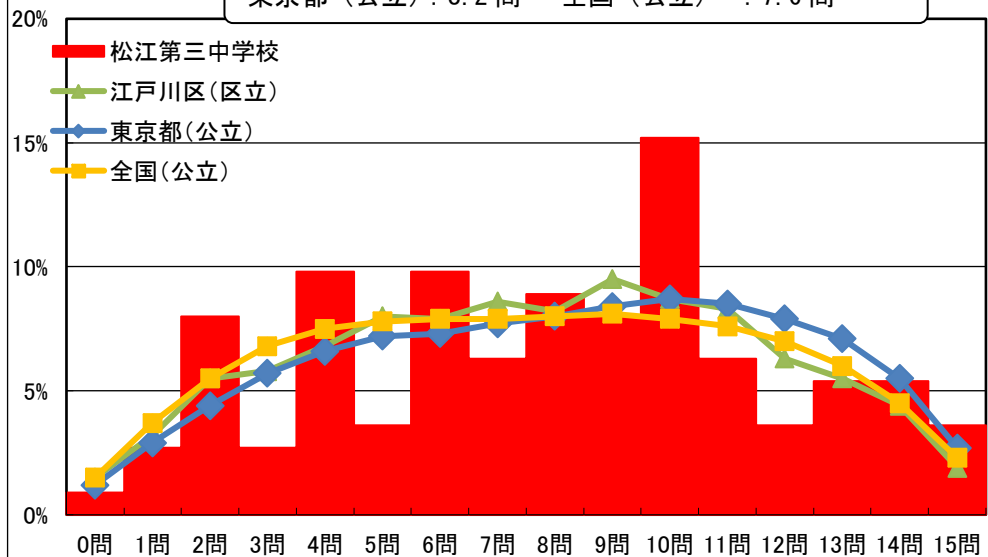


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 松江第三中学校

正答数分布

平均正答数

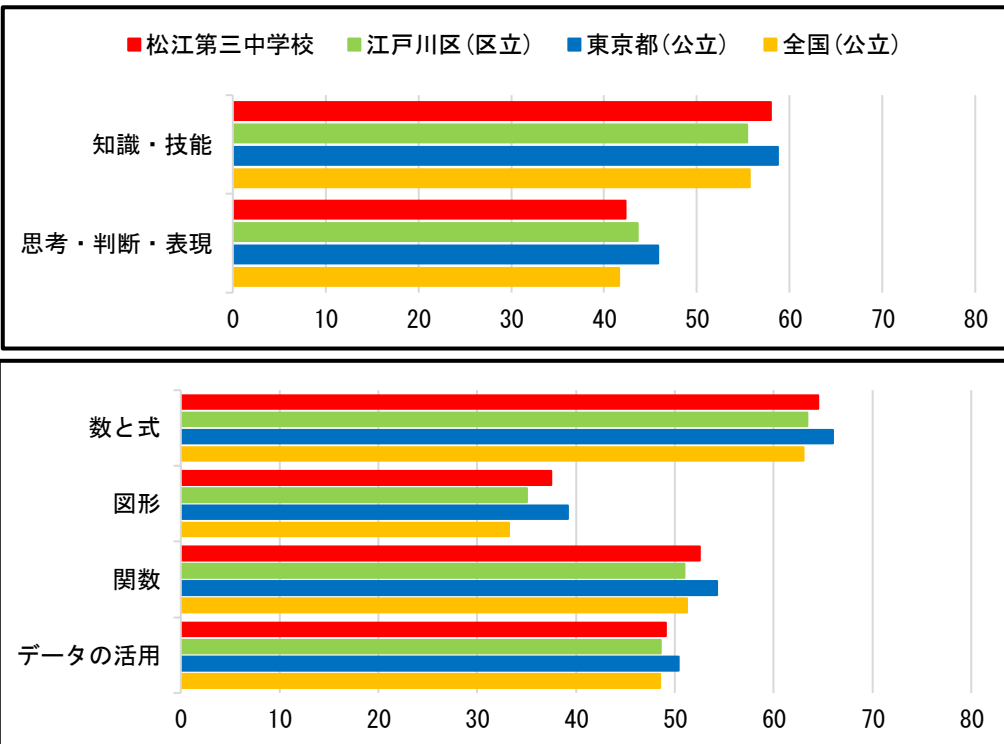
松江第三中学校 : 7.9 問
 江戸川区 (区立) : 7.7 問
 東京都 (公立) : 8.2 問
 全国 (公立) : 7.6 問



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 11~15 問	B層 8~10 問	C層 5~8 問	D層 0~4 問
松江第三中学校	24.3	32.1	19.6	24.0
江戸川区 (区立)	18.1	26.5	24.7	30.7
東京都 (公立)	31.7	25.1	22.2	20.8
全国 (公立)	19.8	23.6	23.8	32.8

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

松江第三中学校	53%
江戸川区 (区立)	51%
東京都 (公立)	54%
全国 (公立)	51.0%
都との差	1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

松江三中に限ったことではないが、思考・判断・表現のポイントが低い。普段の授業中に考えさせる時間を設けて、公式や定理に頼らずに自分の力で問題解決に取り組む姿勢を育成していきたい。また、D層の占める割合が多いことも課題である。基礎・基本の指導をさらに徹底し、C層へ持ち上げたい。さらに、B層からA層への移行も十分に可能である。学習意欲をさらに高めるとともに、確かな学力の定着を図っていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。